

安浪議員 1001 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 「あま咲きコイン」の実施に際し、先に実施した「あま咲きチケット」での問題点を十分に精査したのか。

答弁要旨

「あま咲きチケット」は、コロナ禍において厳しい経営を余儀なくされる飲食・小売・サービス業の事業者の皆様を支援することを目的に、可能な限りスピーディーに資金を届けるための手法としてクラウドファンディングを活用した事業でございます。

事業の実施に当たっては、感染症対策も講じつつ、迅速さを優先したこともあり、市民・事業者への周知・PR や、スマートフォンやインターネットを利用できない環境にある方への配慮といった点で課題があったと認識しております。

あま咲きコインの実施に際しては、こうした課題等も十分に踏まえるなかで、事業者に対して丁寧な説明に努めるなど適切に進めてまいります。

以上

安浪議員 1002 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 事業者が喜んで参加できる、また参加したがる、恩恵はあるのか。

答弁要旨

あま咲きコインが目指す「SDGsの達成」は市民、事業者共通の目標であり、事業者にとって本事業に参画することの意義は非常に大きいものと考えております。

また、コロナ禍にあつて、感染拡大防止策の一つとして、キャッシュレス決済の普及は、ウイルスを媒介する可能性のある現金に触れる機会を減らし、衛生的な環境の構築にも資するほか、ポストコロナ社会を見据えると、新たな顧客の獲得にもつながり、事業者にとって、計り知れない効果を生むものと考えております。

以上

安浪議員 1003・1005 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 もっと本当に困っている人や事業者にとって有益な事業はなかったのか。もっと機会均等に恩恵に預かる優しい事業は考えられないのか。

答弁要旨

「あま咲きコイン」は、環境保全や省エネ促進の活動など、SDGs達成に資する行動をした市民に対し、ポイントを付与し、こうした活動を応援、促進、そして評価するとともに、貯めたポイントについては、市内の協力店舗での買い物や食事、公共施設の利用等にご利用いただける本市独自の電子地域通貨で、10月より実証実験をスタートすることといたしております。

今年度については、こうしたSDGs達成に資する取組に加えて、新型コロナウイルス感染症による影響を受けた事業者への支援策といたしまして、この電子地域通貨の仕組みを活用した電子版プレミアム付き商品券事業をあわせて実施する予定です。

(次ページに続く)

このように、市民・事業者双方に意義のある事業であると認識しておりますことから、より多くの事業者の皆様に本事業の趣旨をご理解いただき、事業へ参画いただく意義を見出していただけるよう事業運営に努めてまいりたいと考えております。

以上

安浪議員 1004 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 「あま咲きコイン」と同種の事業を実施している
商店街を把握しているか。また、「あま咲きコイン」が商
店街に与える影響に対する支援を考えているのか。

答弁要旨

地域通貨事業としては、尾浜商店街周辺における「おう」
がございすが、経済・社会・環境の好循環を目指す「あ
ま咲きコイン」と同種の事業を実施している商店街は無い
ものと認識しております。

先ほどもご答弁申し上げましたが、「あま咲きコイ
ン」事業は、今後のポストコロナ社会の到来を見据え、
キャッシュレス決済の推進により、従来の手法と比較
し、より効率的かつ効果的な地域活性化のツールにな
り得る可能性をもった事業であると考えております。

そうしたことから、「あま咲きコイン」事業の導入
にあたって、現在、計上している商店街への補助金以
外の補助等の手立ては考えておりませんが、商店街の
皆様に対し、キャッシュレス決済という新たな販売

(次ページに続く)

(No. 2)

手法を取り入れる意義等について、丁寧にご説明させていただくなかで、ご理解いただけるよう努めてまいりたいと考えております。

以上

質問要旨 誰のための何のための事業なのか、本当に消費者、商業者が何を望んでいるのか調査しているのか。

答弁要旨

先ほどもご答弁申し上げましたとおり、「あま咲きコイン」事業は、地域課題の解決に資する行動をとった市民にポイントを付与し、そのポイントを市内の加盟店で利用可能とする仕組みであり、市民、事業者共通の目標であるSDGsの達成を目指すものです。

そうしたことから、本事業は、尼崎市民及び市内で事業を営む事業者の皆様のために、そして、尼崎市が持続可能な未来を実現するために、実施する事業であると考えております。

今後、10月より実施する「あま咲きコイン」の実証実験の期間のなかで、市民・事業者の皆様にもアンケート調査等を通じ、ご意見をお伺いするなど、来年度に予定しております本格導入につなげてまいりたいと考えております。

(以上)

安浪議員 1007 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 インターネットやアプリが理解できない商店にはどの様に参加を呼び掛けるのか？そもそも呼びかけないのか。

答弁要旨

本事業はSDGsの達成を図るとともに、今後のポストコロナ社会を見据えるなかで、キャッシュレス決済を推進し、新たな顧客の創造など地域経済の好循環を目指し、事業展開していくこととしております。

そうしたことから、現時点ではネット環境が整備されていない店舗の皆様に対し、きめ細やかに、かつ、丁寧な説明に努めるなかで、安心して参画いただけるよう取り組みを進めていく考えです。

以上

質問要旨

尼崎市設置の防犯カメラは何台あるのか。

答弁要旨

尼崎市の設置している防犯カメラは16台で、これは喫緊の課題であったひったくりを防止するために導入したもので、カメラを一定地域に固定せず、事件の発生状況に合わせて設置場所を変えるなど、効率的な運用を行っております。

本市では、街頭犯罪防止事業における防犯カメラの活用については、本市全域が都市化しており、市内13駅周辺に約1,600台の民間防犯カメラが設置されていることから、大量の防犯カメラを市が設置するのではなく、既設の民間防犯カメラも併せて活用することを方針として取り組んできたところです。

また、新たな取り組みとして、昨年8月末からは車両に設置されているドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」として活用する、見守り協力者事業を始めたところです。

以上

質問要旨

県や市の補助金を活用した防犯カメラは何台設置されているのか。

答弁要旨

兵庫県と協調して実施しております防犯カメラ設置補助を活用し、地域団体等が設置した防犯カメラの台数につきましては、令和元年度末で累計149団体155台でございます。

また、本年度につきましては、応募のあった23台すべてが県の採択を受けていることから、本年度末の設置台数は累計で178台になる見込みです。

以 上

質問要旨

防犯協力の店舗数と防犯ステッカーの貼付枚数は何枚か。

答弁要旨

議員ご紹介のウルトラ警備隊マークを使用したステッカーは、貼付することで、防犯事業協力者であることや防犯カメラが設置されていることを明らかにし、地域の防犯力を高めることで、犯罪抑止を図ることを目的としており、現在 46 の事業者等の協力の下、437 枚を貼付しております。

また、ドライブレコーダーを活用した見守り協力者事業につきましては、現在、公用車を含め 868 台の車両に防犯ステッカーを貼付しており、防犯カメラの協力者分を合わせて約 1,300 枚の防犯ステッカーを貼付しております。

引き続き、一枚でも多くのステッカーを貼付し、防犯力を高め、街頭犯罪抑止を図るため、市民や事業者等への協力を積極的に呼びかけてまいります。

以 上